

「テサロニケ教会の信徒のためのパウロの祈り」

第1テサロニケ5章 23-24 節

はじめに

第1テサロニケの手紙はキリストの再臨が近いことを教えるために書かれた。主は盗人が夜やってくるように再臨されるので、信徒たちに目を覚ましているように勧めている。彼は、テサロニケの信徒たちがただ何となく再臨を待っているように感じた。また、第二の手紙では、彼は再臨の前にどのようなしるしが現れるのかを教えている。

5章において、パウロは彼らが実践的なクリスチャン生活を送れるように様々なアドバイスを与えている。パウロは、彼らが、続けて愛の労にはげみ、神に仕えることを望んでいる。

パウロは、平和の神が彼らを全く聖なるものとしてくださることを願っている。

あなたがたの霊

たましい

からだ

主イエス・キリストの来臨のとき、守られますように。

これはパウロの美しい祈りである。そしてまた、私自身の祈りでもある。神が東京に住んでおられる皆さんを全く聖なるものとしてくださいますように。

1. 彼らに対する神の願い

神ご自身が彼らを聖なるものとするを願っておられる。神はあなたを全く聖なるものをすることを願っておられる。

24 節の「あなたがたを召された方」とは神を指している。

もし神が何かを約束されるなら、神は真実な方であるから、必ず、それを成し遂げてくださる。神は約束を守る方である。

私たち／私は、自分の力で、自分自身を聖なるものとすることはできない。私たちは、ただ神に従うことだけが求められる。私たちは自分自身で格闘したり罪の償いをしたりする必要はない。私たちは神の約束を信じる信仰を働かせなければならない。

神は必ずあなたを聖なる者としてくださる。

2. この経験は信者だけのものである。24 節はテサロニケの信徒のための言葉である。

イザヤ 64 章 6 節は未信者の義は不潔な着物のようであると教えている。

あなたは、自分の罪を主イエスの血によって洗いきよめられなければならない。
その経験をしたものだけが全き聖化を経験することができる。

テサロニケの信者たちは

1. 信仰を持っていた (1:3)
2. 彼らは主にならう者になった (1:6)
3. 彼らは多くの苦難の中で聖霊による喜びをもってみ言葉を受け入れた (1:6)
4. 彼らはすべての信者の模範となった (1:7-8)
5. 彼らは偶像から神に立ち返った (1:9)
6. 彼らは主の再臨を待ち望むようになった (1:10)

これは彼らが新生を経験した信者であることを示している。
パウロはノンクリスチャンのために祈っているのではない。クリスチャンのために祈っている。

3. 神はあなたを全く聖なるものとすることを願っておられる(23 節)

心の聖化は神が聖霊を通して私たちのうちになしてくださる神の働きである。

あなたが新しく生まれたとき、あなたに対する神の働きが終わったのではない。

神はあなたのためにさらに豊かな祝福を備えておられる。

神はあなたを全く聖なる者にすることを願っておられる。

神はあなたが神にすべてを明け渡すことを願っておられる。

神は、この働きを成し遂げると約束しておられる。

4. 神はあなたを、今ここで、きよめてくださる。(23 節 まもられる)

全き聖化はすべての信者が経験すべきものである。

神は、あなたが自分自身を神に明け渡すなら、いつでもあなたをきよめてくださる。

新生の経験の後、あなたは霊的に生きる者となり神に喜ばれる者となっている。あなたは光のうちに歩んでいる。あなたは、今、神のさらに深い働きを受ける備えができています。

神は、その働きを今なすことを願っておられる。

私たちはもはや待つ必要がない。

24 節「あなたがたを召された方は」（英語では He who calls you）

現在時制

能動態

直説法

つまり、神は、今、あなたを全き聖化に召しておられるという意味である。

「主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたが守られますように。」

この「守られる」ということは神が主の来臨のときに行われることではない。もしそうであれば、この箇所には「守られる」という言葉はないはずだからである。

5. (23 節)責められるところのないように守られる

この経験は、あなたをきよめ、あなたと神との関係を強固にする。

私たちが救われるとき、聖霊が私たちのうちに住んでくださる。ローマ 8 章 9 節「神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら」この御霊が私たちを助け、導いてくださる。

しかし、私たちの心の中には依然として過去から受け継いだ罪、自己中心の性質が残っている。

「責められるところのない (blameless)」という言葉は成熟とか完全を意味するのではない。

この言葉は、神が私たちの心の動機が自己中心なものにならないようにきよめてくださることを意味する。

この働きはどのようになされるのであろうか。

私たちが自分自身をキリストの主権に完全に明け渡し、聖霊によって完全に満たされるとき、神は私たちをきよめてくださる

この経験は、キリストと豊かで力強い関係を持つための秘訣である。

婚約と結婚の間の期間による例証

婚約のときも結婚のときも、二人は共に愛し合っており、相手との幸福を持つために他のすべての人との関係を捨てている。

しかし、結婚のときに、結婚相手に対して無条件に自分自身を明け渡すのである。

結婚のときに、二人はすべての面ですべてのときに愛し合うとはどういうことかを学ぶのである。

そのようにホーリネスは新生のときに始まる。

コリントの教会の信徒たちは
肉的であった
キリストにある幼子であった
堅い食物ではなく乳を飲んでいて。

コリントの信徒たちの中に、ホーリネスの働きは完成していなかった。
彼は、神に対して、またお互いに対してより深い愛を持つために、きよめを必要としていた。

適用

私たちは自分で自分自身をきよめることはできない。

必要なことは、あなたが神に対して従順であること、またあなたのうちに神が働かれるのを許すことである。

1. 神はあなたを全く聖なるものとするのを望んでおられる
2. これは信者に対する働きである
3. 神はあなたを全く聖なるものとするのを望んでおられる
4. 神はそれを今行うことを望んでおられる
5. その結果、あなたの心、霊、思い、心がきよめられ、あなたとキリストの関係が強くなる。

質問：わたしは、全く聖なる者とされるためには、どうすればよいのか。

私たちにできることは何もない。ただ神に自分自身を明け渡し、み言葉を信じて、み言葉に従うことである
神が働かれるのである。そして、神が今それをなしてくださったことを信じよう。